第3期子ども・子育て支援事業計画(素案)に係るパブリックコメントでの意見及び町の考え方

No.	意見等 (概要)	意見等に対する町の考え方
1	船岡保育所は、船岡(小学校)学区の	町では、柴田町公共施設等総合管理計画に基
	東端のため、東船岡(小学校)学区の方	づき、子どもの人数と保育需要等をふまえ子育
	が利便性が高い。新図書館エリアまたは	て施設等を整備しています。
	西住小学校エリアに保育所を作るべき。	公立保育所建設に対する国からの補助金はな
		いため、現在の町の財政状況を考えると保育所
		の新規建設は難しいものと考えております。
		一方、民間保育事業者が保育施設を建設する
		場合の国補助金はありますので、民間保育事業
		者が今後の保育需要を見込み、その地区(例えば
		西住地区など)で保育所等を開所しても経営が
		成り立つと判断した際には、町としても補助金
		を活用し、支援していきたいと考えております。
2	児童館は日曜日休みで、イベントも平	全国的にも、保育士等が不足しており、柴田町
	日開催ばかり。子育て世帯にやさしくな	も保育士等の確保に苦慮しているところです。
	い。子育てイベントは土日にすべき。	児童館は、日曜日、祝日、年末年始を休館日に
		しておりますが、日曜日を開館するためには、さ
		らに人員を確保しなければならず、現状で日曜
		日の開館は難しいことをご理解ください。
		子育てイベントについて、イベント終了時に
		その都度、イベントに参加しやすい曜日や時間
		について、アンケートを行っており、そのアンケ
		ート結果を参考に平日のイベントが多くなって
		おりますが、一部土曜日に実施しているイベン
		トもありますので、ぜひご利用ください。
3	全国的に認定こども園はあって当た	認定子ども園は、保護者の就労状況等に関わ
	り前の風潮の中、「移行を促進すること	らず、教育・保育が一体的に受けることができ、
	は適当でない」というのは矛盾してい	保護者の利便性が高いことは理解しておりま
	る。	す。
		しかし、幼稚園等の認定こども園への移行に
		ついては、町内私立幼稚園それぞれの事業者が
		教育・保育に対する方針を持ち運営しているこ
		とから、町の思いだけでは移行できないことを
		ご理解ください。
		なお、計画内の表現については、下記のとおり
		一部修正します。

88ページ(1) 認定こども園の普及についての基本的な考え方2 段落目以降

「しかし、私立の幼稚園・保育所においては、 運営者の事業に対する考え方(建学の精神など) や、教育・保育に対する方針があり、利用者もそ の考え方等への共感が利用につながっているこ とを考慮しつつ、今後も施設の状況や事業者の 意向を踏まえた上で、認定子ども園への移行や 設置について、その可能性を引き続き検討して いきます。」に修正します。